

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場会社名 株式会社プロルート丸光 上場取引所 東
 コード番号 8256 URL http://www.proroute.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)安田 康一
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長室室長 (氏名)西本 昭司 (TEL)06(6262)0303
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年3月21日～平成26年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,877	△19.6	△20	—	△86	—	△71	—
26年3月期第2四半期	8,551	△1.7	29	△50.9	△34	—	△38	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △61百万円(—%) 26年3月期第2四半期 △20百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△4.05	—
26年3月期第2四半期	△2.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,213	2,107	17.2
26年3月期	12,324	2,036	16.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,106百万円 26年3月期 2,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年3月21日～平成27年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,450	△8.6	160	—	50	—	40	—	2.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)― 、除外 一社(社名)―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	18,552,440株	26年3月期	18,399,340株
27年3月期2Q	67株	26年3月期	1,399,567株
27年3月期2Q	17,562,261株	26年3月期2Q	16,473,395株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等により企業収益が徐々に改善され、全体としては緩やかな回復基調となりました。

当社グループの属する衣服・身の回り品業界におきましては、高額商品を中心に消費税率引上げ前の駆け込み需要はあったものの、4月以降の反動減や消費者の節約志向もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の中で、当社グループは、期初より全社をあげての事業構造改革を推し進めた結果、人件費を中心とした固定費圧縮等により大幅なコスト削減を実現いたしました。また、主力の卸売業において売場再編成を行い、次世代ミセスの提案フロアの新設やVMD（ビジュアルマーチャンダイジング）の導入による売場改革等、強みである婦人商品群に特化し営業力強化を図っております。さらに、新たなPB（プライベートブランド）の開発による新規顧客の開拓やビジネスパートナーとの協業による海外販売等の施策についても積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、市場を牽引するトレンドの欠如や台風、集中豪雨などの天候不順により夏物商品の販売に苦戦を強いられたため、想定以上に売上高が減少し、各段階利益においても当初計画を下回ることとなりました。

以上の結果、当社グループ全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は68億77百万円（前年同四半期比19.6%減）、営業損失は20百万円（前年同四半期は営業利益29百万円）、経常損失は86百万円（前年同四半期は経常損失34百万円）、四半期純損失は71百万円（前年同四半期は四半期純損失38百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(卸売事業)

当第2四半期連結累計期間の卸売事業における売上高は67億89百万円（前年同四半期比19.7%減）、営業損失は10百万円（前年同四半期は営業利益45百万円）となりました。

(小売事業)

関東地区で小売業を営む株式会社サンマールの当第2四半期連結累計期間における売上高は87百万円（同6.1%減）、営業損失は9百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は122億13百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億10百万円減少いたしました。これは主として商品が2億20百万円増加する一方で、現金及び預金が1億76百万円、有形固定資産が1億21百万円減少したことによるものであります。

負債合計は101億6百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億81百万円減少いたしました。これは主として短期借入金が増加する一方で、長期借入金が増加し、事業構造改善引当金が減少したことによるものであります。

純資産は21億7百万円となり、前連結会計年度末に比べて70百万円増加いたしました。これは主として自己株式が増加し、資本剰余金が減少したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて1億76百万円減少し、7億93百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による支出は2億30百万円（前年同四半期は1億10百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、減価償却費1億32百万円及び仕入債務の増加1億7百万円であり、支出の主な内訳は、事業構造改善引当金の減少額2億53百万円及びたな卸資産の増加額2億22百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による収入は19百万円（前年同四半期は24百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、固定資産の売却による収入62百万円であり、支出の主な内訳は、固定資産の取得による支出42百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による収入は33百万円（前年同四半期は36百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増加額4億78百万円及び自己株式の処分による収入1億19百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出3億83百万円及び社債の償還による支出1億57百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績予想につきましては、平成26年5月2日に発表いたしました数値に変更はありません。なお、開示が必要となりました場合は、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であった株式会社グローバルルートは当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	969,400	793,047
受取手形及び売掛金	1,299,083	1,291,994
商品	790,787	1,011,345
その他	58,908	39,542
貸倒引当金	△4,730	△5,400
流動資産合計	3,113,450	3,130,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,256,467	2,242,586
機械装置及び運搬具(純額)	24,326	21,204
工具、器具及び備品(純額)	71,218	58,078
土地	6,302,048	6,270,178
リース資産(純額)	33,640	21,415
建設仮勘定	47,337	-
有形固定資産合計	8,735,038	8,613,463
無形固定資産		
	87,476	74,774
投資その他の資産		
投資有価証券	64,286	72,808
差入保証金	316,872	316,364
その他	26,453	7,038
貸倒引当金	△19,173	△1,185
投資その他の資産合計	388,439	395,025
固定資産合計	9,210,953	9,083,264
資産合計	12,324,404	12,213,795

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	580,188	687,715
短期借入金	5,311,190	5,789,832
1年内返済予定の長期借入金	784,664	764,744
1年内償還予定の社債	314,000	274,000
事業構造改善引当金	300,619	93,518
未払法人税等	18,334	6,429
未払費用	237,634	221,623
その他	136,230	206,235
流動負債合計	7,682,862	8,044,099
固定負債		
社債	502,000	385,000
長期借入金	1,187,858	824,636
退職給付引当金	595,619	596,971
役員退職慰労引当金	41,567	31,587
事業構造改善引当金	114,750	68,850
資産除去債務	55,699	55,815
その他	107,416	99,432
固定負債合計	2,604,910	2,062,291
負債合計	10,287,772	10,106,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,861,940	1,868,535
資本剰余金	1,112,470	974,802
利益剰余金	△689,949	△761,027
自己株式	△264,680	△12
株主資本合計	2,019,780	2,082,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,571	20,548
繰延ヘッジ損益	△804	3,406
その他の包括利益累計額合計	14,767	23,954
新株予約権	2,084	1,152
純資産合計	2,036,631	2,107,404
負債純資産合計	12,324,404	12,213,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
売上高	8,551,408	6,877,449
売上原価	6,633,102	5,340,889
売上総利益	1,918,306	1,536,559
販売費及び一般管理費	1,889,175	1,556,596
営業利益又は営業損失(△)	29,130	△20,036
営業外収益		
受取利息	52	43
受取配当金	2,368	992
受取賃貸料	5,851	5,393
その他	5,223	4,698
営業外収益合計	13,495	11,127
営業外費用		
支払利息	71,179	71,628
支払手数料	125	127
その他	6,179	5,935
営業外費用合計	77,484	77,690
経常損失(△)	△34,857	△86,600
特別利益		
固定資産売却益	-	18,685
特別利益合計	-	18,685
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,857	△67,914
法人税、住民税及び事業税	4,148	3,238
法人税等調整額	△73	△73
法人税等合計	4,074	3,164
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△38,932	△71,078
少数株主利益	-	-
四半期純損失(△)	△38,932	△71,078

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△38,932	△71,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,805	4,977
繰延ヘッジ損益	△2,853	4,210
その他の包括利益合計	17,951	9,187
四半期包括利益	△20,981	△61,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,981	△61,891
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,857	△67,914
減価償却費	137,276	132,172
のれん償却額	11,558	-
固定資産売却損益(△は益)	-	△18,685
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20,431	△17,317
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,458	1,351
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	-	△253,001
受取利息及び受取配当金	△2,421	△1,035
支払利息	71,179	71,628
売上債権の増減額(△は増加)	△196,662	7,088
たな卸資産の増減額(△は増加)	△238,202	△222,303
仕入債務の増減額(△は減少)	222,042	107,526
その他	△44,069	110,584
小計	△34,265	△149,904
利息及び配当金の受取額	2,421	1,035
利息の支払額	△72,388	△72,477
法人税等の支払額	△6,685	△8,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	△110,918	△230,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△24,900	△42,844
固定資産の売却による収入	-	62,582
投資有価証券の取得による支出	△789	△795
貸付けによる支出	△1,200	-
貸付金の回収による収入	410	360
差入保証金の回収による収入	1,596	508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,883	19,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	640,142	478,642
長期借入金の返済による支出	△483,142	△383,142
社債の償還による支出	△157,000	△157,000
株式の発行による収入	-	13,099
リース債務の返済による支出	△36,261	△37,872
自己株式の取得による支出	△22	-
自己株式の処分による収入	-	119,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,283	33,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	△275	560
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△172,361	△176,353
現金及び現金同等物の期首残高	1,020,702	969,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	848,341	793,047

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株式の発行を行った結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,595千円増加しました。また、新株予約権の行使による自己株式の処分を行った結果、資本剰余金が144,263千円、自己株式が264,667千円減少いたしました。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,868,535千円、資本剰余金が974,802千円、自己株式が12千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,457,943	93,464	8,551,408	—	8,551,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	699	267	967	△967	—
計	8,458,643	93,731	8,552,375	△967	8,551,408
セグメント利益 又は損失(△)	45,215	△16,075	29,140	△9	29,130

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	卸売事業	小売事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,789,642	87,807	6,877,449	—	6,877,449
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	82	82	△82	—
計	6,789,642	87,890	6,877,532	△82	6,877,449
セグメント損失(△)	△10,525	△9,765	△20,291	254	△20,036

(注) セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。